

各水系の水資源開発基本計画の概要

(平成29年4月28日現在)

水系名		利根川水系 及び荒川水系	豊川水系	木曾川水系	淀川水系	吉野川水系	筑後川水系
水系指定		(利根川水系) 1962年4月27日 (荒川水系) 1974年12月24日	1990年2月6日	1965年6月25日	1962年4月27日	1966年11月18日	1964年10月16日
計画決定	当初決定	1976年4月16日 (利根川水系のみ 1962年8月17日)	1990年5月15日	1968年10月15日	1962年8月17日	1967年3月14日	1966年2月1日
	現行計画	2008年7月4日 (V次)	2006年2月17日 (II次)	2004年6月15日 (IV次)	2009年4月17日 (V次)	2002年2月15日 (III次)	2005年4月15日 (IV次)
	一部変更	2017年4月28日	2015年12月18日	2016年1月22日	2016年1月22日	—	2015年12月18日
計画目標年度		2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2010年度	2015年度
水需要	都市用水	約 176m ³ /s	約 6.1m ³ /s	約 69m ³ /s	約 114m ³ /s	約 22m ³ /s	約 10.4m ³ /s
	水道用水	約 147m ³ /s	約 4.5m ³ /s	約 50m ³ /s	約 97m ³ /s	約 10m ³ /s	約 8.2m ³ /s
	工業用水	約 28m ³ /s	約 1.6m ³ /s	約 19m ³ /s	約 17m ³ /s	約 12m ³ /s	約 2.2m ³ /s
	農業用水	約 0.3m ³ /s	約 0.3m ³ /s	—	約 6.6m ³ /s	—	約 0.1m ³ /s
供給の目標	供給の目標を達成するため必要な施設の建設等	<ul style="list-style-type: none"> ●利根川水系 (1) 思川開発 2 ハッ場ダム 3 霞ヶ浦導水 4 湯西川ダム 5 北総中央用水土地改良 ●荒川水系 (6) 滝沢ダム <改築事業> (7) 武蔵水路改築 (8) 印旛沼開発施設緊急改築 (9) 群馬用水施設緊急改築 (10) 群馬用水緊急改築 (11) 利根導水路大規模地震対策 (12) 房総導水路施設緊急改築 	1 設楽ダム <改築事業> (2) 豊川用水二期	(1) 徳山ダム (2) 木曾川水系連絡導水路 <改築事業> (3) 愛知用水二期 (4) 木曾川右岸施設緊急改築 (5) 木曾川右岸緊急改築	(1) 川上ダム <改築事業> 2 天ヶ瀬ダム再開発	<改築事業> (1) 香川用水施設緊急改築	(1) 福岡導水 (2) 大山ダム 3 佐賀導水 4 筑後川下流土地改良 (5) 小石原川ダム <改築事業> (6) 両筑平野用水二期
	都市用水	安定供給可能量 (近2/20) 約 168m ³ /s 計画供給量 約 196m ³ /s	(近2/20) 約 6.5m ³ /s 約 7.9m ³ /s	(近2/20) 約 77m ³ /s 約 113m ³ /s	(近2/20) 約 111m ³ /s 約 134m ³ /s	(H6時) 約 19m ³ /s 約 27m ³ /s	(近2/20) 約 11.0m ³ /s 約 13.4m ³ /s

※ 供給の目標を達成するため必要な施設の建設等の()番号は、独立行政法人水資源機構が事業主体であることを示す。

※ 安定供給可能量(近2/20)とは、近年の20年に2番目の渇水年において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量のことである。

※ 安定強供給可能量(H6時)とは、既往最大級の渇水であった平成6年の降雨状況を前提として、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給することが可能な水量のことである。